2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

2023年4月~2023年9月(第195期第2四半期連結累計期間)

2023年 10月 27日 日本車輌製造株式会社



目次

- 1. 2024年3月期 第2四半期累計連結決算の概要
 - (1)業績の要約
 - (2) セグメント別業績

2. 2024年3月期 連結通期業績見通し



業績の概要(2024年3月期第2四半期累計期間)

売上:輸送用機器・鉄構事業、建設機械事業の増収の一方で、鉄道車両事業、

エンジニアリング事業の減収により減収

利益:鉄道車両事業の減益の一方で、輸送用機器・鉄構事業が

黒字化したことなどにより増益

	2023年3月期 累計	2024年3月期 累計	増減	前期比
売上高	444	417	△26	△5.9%
営業利益	14	28	+14	+100.1%
経常利益	15	30	+15	+100.3%
(売上高経常利益率)	(3.4%)	(7.2%)	(+3.8%)	_
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	21	+9	+108.9%



セグメント別業績(2024年3月期)

		売上高			営業損益	
	前年同 四半期	当第2 四半期	増減	前年同 四半期	当第2 四半期	増減
鉄道車両	237	193	△43	18	10	△7
輸送用機器・鉄構	66	87	+ 21	△10	4	+14
建設機械	99	101	+2	15	17	+2
エンジニアリング	40	34	△6	0	1	+0
その他/調整額	0	0	△0	△9	△4	+4
合計	444	417	△26	14	28	+14

^{※「}調整額」は、セグメントに帰属しない一般管理費、セグメント間取引消去などを含んでいる



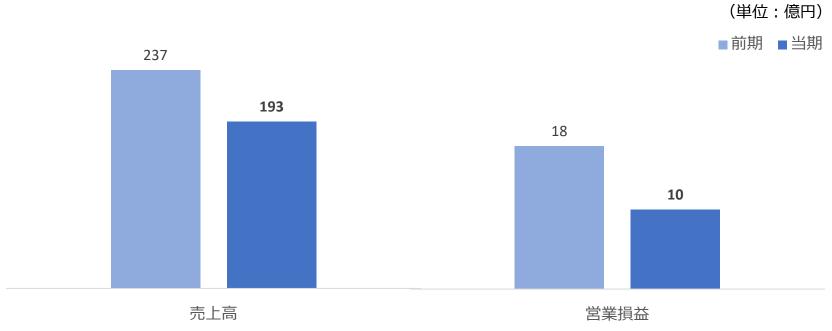
鉄道車両事業

<売上高>

▶ J R東海向けN 7 0 0 S新幹線電車や3 1 5 系電車、H C 8 5 系特急型車両のほか、新京成電鉄向け電車、名古屋鉄道向け電車などの売上があり、J R向け車両の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

▶主に減収により減益。





輸送用機器・鉄構事業

<売上高>

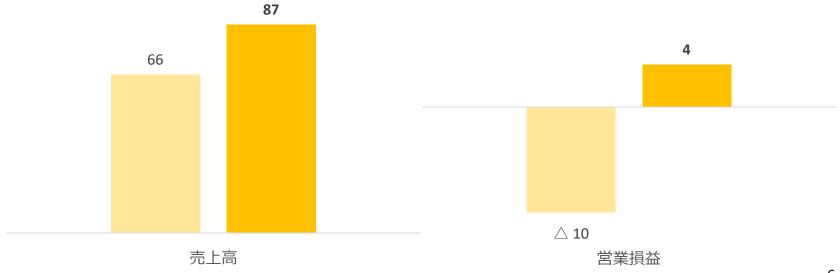
- ▶ 輸送用機器は、民生用バルクローリ、大型自走式キャリヤ、無人搬送装置などの売上があり、民生用バルクローリ、無人搬送装置の売上が増加したことなどにより増収。
- ▶ 鉄構は、佐世保道路須崎橋、東海環状員弁川橋などの道路橋の売上が増加したことなどにより増収。
- ▶事業全体で増収。

<営業損益>

▶ 増収による増益に加えて、操業度向上による利益率の改善、また損失引当金の繰入額も減少したことから黒字化。

(単位:億円)

前期 当期





建設機械事業

<売上高>

▶ 大型杭打機、小型杭打機、全回転チュービング装置などの売上があり、国内向けの杭打機の売上が増加したことなどにより増収。

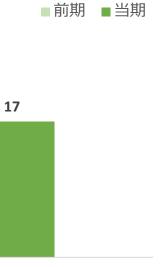
101

<営業損益>

▶主に増収により増益。

99

売上高



15

営業損益



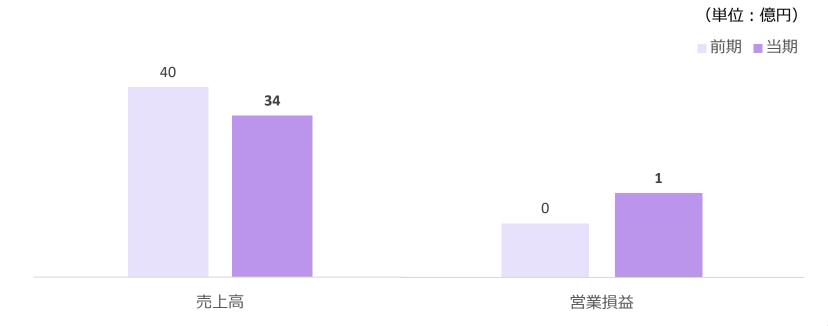
エンジニアリング事業

〈売上高〉

▶ 鉄道事業者向け機械設備のほか、各地のJA向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上があり、鉄道事業者向け機械設備の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

▶ 減収ではあったものの、個別案件の利益率が向上したことにより増益。





2024年3月期 連結通期業績見通し

期首予想(2023年4月)との比較 ※2023年 10月 27日 現在

売上高:建設機械事業や輸送用機器・鉄構事業の増収により増加する見通し

利 益:売上高の増加や、比較的利益率の高い製品が増加することに加え、

投資有価証券の売却益により、親会社株主に帰属する当期純利益は増加

する見通し

科目	期首予想	今回予想	増減	前回予想比
売上高	880	890	+10	+1.1%
営業利益	41	45	+4	+9.8%
経常利益	42	47	+5	+11.9%
(売上高経常利益率)	(4.8%)	(5.3%)	(+0.5%)	_
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	38	+6	+18.8%



2024年3月期の中間配当及び期末配当予想

・中間配当金 1株当たり10円 (期首予想通り、前中間期と同額)

・期末配当(予想) 1株当たり10円



※本資料の業績見通しに記載されている将来の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。